

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第9回和田区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知）（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

4 開催日時

令和4年11月17日（木） 午後6時40分から午後7時55分まで

5 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

6 傍聴人の数

なし

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、草間雄一、篠原精子、清水雅浩、高橋武弘

宮崎雅彦（副会長）山岸優子（欠席7人）

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

9 発言の内容

【小池係長】

・植木委員、片田委員、金子委員、佐藤勝雄委員、佐藤力委員、平原委員、横田委員を除く7人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【有坂会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：清水委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【有坂会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし

— 次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知） —

【有坂会長】

次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知）に入る。
事務局より説明を求める。

【小池係長】

- ・当日配布資料No.1に基づき説明

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

以上で次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知）を終了する。

— 次第4 議題（1）地域活性化の方向性について —

【有坂会長】

次第4 議題（1）地域活性化の方向性について に入る。

本日は「地域活性化の方向性」の作成にあたり、2班に分かれてグループワークを行う。事務局より説明を求める。

【小池係長】

- ・参考資料（令和4年4月28日付け送付資料、第8回和田区地域協議会 資料No.2、名立区・牧区・頸城区地域協議会の地域活性化の方向性、和田区の地域活

性化の方向性の基本形)に基づき、委員が1班と2班に分かれ、参考資料を参考としながら、地域活性化の方向性の「構成要素」を自由に付箋に記入して大判の用紙に貼り、その後、班ごとに発表いただく流れ並びに作業時間は最大で午後7時45分までの旨を説明

【有坂会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【宮崎副会長】

時間は最大と言わず、午後7時35分くらいでよいと思う。

【有坂会長】

では、そのようにする。

それでは、2班に分かれてグループワークを始めてほしい。

— グループワーク —

【有坂会長】

会議を再開する。

では、各班より概要を発表していただく。最初に2班より発表願う。

【高橋委員】

2班の発表を行う。

まず前提条件として抽象的な表現を控え、あくまで和田地区にしかないもの、ということで意見を出しあった。その中で一番大きなものとしては、「交通」「上越妙高駅」である。そして「遺跡」、あとは「自然」というかたちになるかと思う。「自然」の中では、「妙高山の姿が美しい」、あとは、矢代川沿いに桜並木があるので、そういうものも何かに活かしていくことができればという思いもあり、挙げた。

あとは「食糧」「イベント」「情報関係」についてである。特に情報関係に関しては、上越妙高駅周辺にそういうセンターのようなものがある。イベントスペースとしても、遺跡周辺の芝生のスペース等が利用できるということを内容として挙げた。

遺跡に関しては、「釜蓋遺跡」は当然であるが、「北国街道」等、歴史的な昔から

の遺跡の痕跡が残る部分があるので、そういうものをできるだけアピールしていきたいと考えている。

【有坂会長】

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし
質問である。

確かに矢代川沿いの堤防に植えられている桜は綺麗に咲いている。その他に、駅から岡原へ行く道の橋を渡ったところのポプラ並木も綺麗だと思う。以前、高橋委員が「葉が落ちて嫌だ」と言っていたが、あのようなものもよい気がする。

【宮崎副会長】

住んでいる人からすると、あそこは歩きづらく、地元町内からは「切ってほしい」という要望もある。

【有坂会長】

もったいないとは思う。

【高橋委員】

今ほどのポプラ並木に関しては、私も伐採派である。正直言うと、今年も市への要望や、議員の方にもそういった文書を渡している。実際先月だったか、かなりの人数の職員が現地視察に来られて、まずい部分があるということを書いていたようである。根元から枝が伸びてくるので、見通しが非常に悪い。実際、道路に出るにも本当にぎりぎりまで分からなく、私は車をぶつけられたことがあり、かなり切ない思いをした。そういったこともあり、今回はポプラ並木を出さなかった。

【有坂会長】

承知した。

- ・他に質疑を求めるがなし
次に1班より発表願う。

【草間委員】

1班の発表を行う。

1班でも、やはり「上越妙高駅」「新幹線」と、「トキめき鉄道 はねうまライン」という駅が重要、主要なところであろうということで一致している。そして、「釜蓋

遺跡」「吹上遺跡」などの利用についても、大切に考えていきたいと思っている。そういった中で遺跡に関しては、「古代米を作ってはどうか」という意見もいただいた。古代米については、昔、稲荷でも取り組んだことがあるが、「他の稲と混ざる」といった問題もあり、やめたということがあった。新たに稲荷ではないところで、圃場整備がされていない小さな田んぼを利用して、古代米づくりが可能であるのかどうかは、これから検討していくことができるかもしれないと考えている。小さな田んぼも多くあり、圃場整備ができない田んぼも沢山ある。そういった農地を貸し出すことができるのか、また生産したものを販売するような、農業と関係する仕事ができればと個人的にも思うので、そういったところも考えていくことができればと思う。

また、スポーツイベント等、駅から出発してファミリーで楽しめるようなものがあるのかどうか。マラソン対決という、なかなか難しいところもあるかと思う。他地区まで行かざるを得ない状況もなる。その辺は改めて考えなければいけないが、そのようなことができればと思っている。

次に歴史の地図のような、ポイントの地図を作ってはどうかという意見もあった。

次に今までのイベントや新しいスポーツイベントなど、いろいろなイベントが考えられるが、今までの駅のイベントや大ケヤキ、お雛様を飾る等のイベントは継続することがよいであろうとの意見もあった。

この間、釜蓋遺跡の発掘が行われたと思う。継続的に随時やって、新しいものがどんどん出てくれば、注目を集めるはずだが、それが中断して他の地区にばかりいつているので、「釜蓋遺跡」「吹上遺跡」等でも、随時やっている状況だとよい。市の文化行政課の方からすると、今やることはなかなか難しい面もあると聞いているが、継続して行っていれば、人は常に集まってくるということは考えられると思う。

次に、農業体験である。駅に近いということで農業体験のイベント等がやれる状況になるかは、また考えなければいけないが、そのシーズンに合わせた農業ができれば最高だと思う。そういったイベントが継続的にできれば、お客さんも継続して来ることも考えられるので、少ない人数から参加者を募っていけばよいのではないかと思う。

【有坂会長】

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし

本日いただいた意見を整理し、「地域活性化の方向性」の作成に向けて、次回の会議につなげていきたいと思う。

以上で次第4 議題（1）地域活性化の方向性について を終了する。

— 次第5 事務連絡 —

【有坂会長】

次第5 事務連絡 に入る。事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

第10回地域協議会：12月21日（水）18：30から ラーバンセンター

第11回地域協議会：1月18日（水）18：30から ラーバンセンター

- ・その他配布物

清里区、諏訪区地域協議会の意見書

上越市男女共同参画推進センターのチラシ

地域教育 往来

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。